



平成29年
第2回市議会定例会
市長報告

「企業誘致・定住者確保」「子育て拠点施設の整備」「英語教育の充実」に重点

6月6日から平成29年第2回市議会定例会が開かれ、針谷市長が市政運営における主な事業の執行状況等を報告しました。ここでは、内容の概要を紹介します。なお、市長報告の全文は市公式ホームページに掲載しています。【問】企画課(総和庁舎) ☎92-3111

市民協働・行財政

新たな地区コミュニティの設立や活動のさらなる拡大に向けてサポートを進めます。

ふるさと納税は、平成28年度の寄附金総額は約5億円となり、その前年度よりも約3億4,000万円の増収となりました。今後も市内産業のPRを含め、貴重な財源確保に努めます。

教育文化

平成28年12月に英語教育特区の指定を受け、今年度から小学1年生・2年生は年間10時間、3年生・4年生は週1時間の英語活動を行っています。

外国語指導助手(ALT)を6人増員の20人とし、各校に派遣することで、小学校における英語教育の充実に取り組んでいます。

生活環境

大規模な災害が発生した場合に備え、近隣自治体などと災害協定を締結しています。避難所などへの速やかな仮設トイレの設置について関係事業者と新たに協定を締結しました。

また、総合的な水運用や老朽化施設の更新を計画的に実施し、安全・強靱・持続を踏まえた経営のための計画策定を進めています。

健康福祉

子育て拠点施設整備として、古河赤十字病院跡地へ上辺見保育所を移転し、最大180人まで利用定員規模の拡大を図ります。平成31年4月の開所を目指し、今年度は用地測量や実施設計を進め、その後、建設工事に着手する予定です。

産業労働

市への定住を促進するため、市外から転入して住宅を取得した若者子育て世帯に対し、交付している奨励金の事業期間を3年間延長し、平成32年度末までの交付としました。

都内への通勤圏である強みを活かし、JR上野東京ラインなどで中吊り広告を活用したPRに努め、さらなる定住者の拡大を図ります。

都市基盤

市内への企業誘致を目的とする新産業用地開発事業は、地質調査や基本設計を進めており、今後は用地取得、開発申請等を行い、区域の一部において樹木の伐採工事等を予定しています。平成31年度中の造成工事および道路整備工事の完了を目指し、スピード感を持って事業の進捗を図ります。